

# 各施策目標ページの見方

## 第3章

### 事業計画（水道事業）

**施策目標 1 安全で良質な水**



1

**第3章**

施策目標 1 安全で良質な水

**取組の方向性**

- 道志水源林を適正に管理・保全することにより、水源かん養機能の向上を図り、道志川の安定した河川流量と良質な水質を維持します。
- 道志川で夏季を中心に発生するかび臭物質に対する活性炭注入設備の最適な運用方法の検討など、水源水質の変化等に適切に対応します。
- 水安全計画(P31「コラム 横浜市水道局水安全計画」参照)に基づき水源から蛇口までの水質管理を行うとともに、浄水場におけるISO 9001(P33「解説 ISO 9001」参照)の認証を引き続き取得し、適切な浄水処理を行います。また、浄水場出口において、国の水質基準よりも厳しい「水質管理値」を水道局独自で設定し、蛇口での水質基準を確実に守るよう水質管理を行います。加えて、水道GLP(P33「解説 水道GLP」参照)の認定を引き続き取得するなど確実な検査体制と高い検査精度を維持するとともに、新たな水質リスクである有機フッ素化合物(PFOS・PFOAなど)について、情報収集や汚染の実態把握、測定体制の強化を図ります。
- 西谷浄水場について、水源である相模湖の水質に適した浄水処理施設の導入に向け、引き続き再整備を進めます。
- 直結給水の促進に引き続き取り組むとともに、小・中学校の屋内水飲み場の直結給水化を進め、未来を担う子どもたちに、より安全で良質な水が飲める環境を作ります。

**指標**

指標名	現状値	目標値
浄水場出口における「水質管理値」の達成率	100% (R5年度未見込み)	100% (毎年度)

**施策及び主要事業**

**施策1：水源保全**  
 主要事業1 道志水源林の保全

**施策2：水安全計画に基づく水質管理**  
 主要事業2 水源水質の変化への対応  
 主要事業3 水質管理体制の維持・強化  
 主要事業4 西谷浄水場の再整備

**施策3：直結給水の促進**  
 主要事業5 直結給水の促進  
 主要事業6 子どもたちが水道水を飲む文化を育む事業



道志水源林の保全

### ① SDGsアイコン

施策目標と関わりの深いSDGsの目標のアイコンを掲載しています。

### ② 取組の方向性

施策目標の達成に向けた計画期間中の取組の方向性を示しています。

### ③ 指 標

計画期間中の施策目標の達成状況を示すもののうち、代表的なものを1つ又は2つ掲載しています。

4

## 施策1:水源保全

5

### 現状と課題

水道局は、水源の一つである道志川が流れる山梨県道志村に、村の総面積の約36%に当たる約2,873haの水源地を所有しています。道志川の安定した流量と水質を維持するため、「道志水源林プラン(第十一期)(平成28年度～令和7年度)」を策定し、水源林を計画的に管理・保全しています。プランの計画整備面積762haに対し令和5(2023)年度末までに600haの整備を見込んでおり、順調に進捗しています。

「道志水源林プラン(第十一期)」は、令和7(2025)年度末で計画期間が終了することから、新たな「道志水源林プラン(第十二期)」を策定する必要があります。

全国で拡大しているナラ類やシイ・カシ類等の広葉樹が集団枯損する害虫被害(ナラ枯れ)が道志水源林でも見られるため、被害調査及び被害対策を継続的に行う必要があります。

6

### 主要事業1 道志水源林の保全【拡充】

事業費 2.4億円

- ・「道志水源林プラン(第十一期)」に基づき、計画的に水源林の整備、保全を行うとともに、新たな「道志水源林プラン(第十二期)(令和8年度～令和17年度)」を策定します。
- ・ナラ枯れ被害の全容を把握するため、ドローンを使った被害調査を試行的に行うとともに、被害木は「くん蒸処理」を行い、被害の抑制に取り組みます。
- ・水源林の整備費用の一部には、企業・団体と協働で水源林保全に取り組む「水源エコプロジェクトW-eco・p(ウィコップ)」(下記コラム参照)の寄附金を活用します。



間伐作業

7

想定事業量	現状値	目標値
① 水源林の整備面積	305ha (R2年度～R5年度未見込み)	230ha (R6年度～R9年度)
② ドローンを活用した被害調査	—	被害状況の把握
③ ナラ枯れの抑制(くん蒸処理)	1,600本/年	1,500本/年

8

### コラム

### 水源エコプロジェクトW-eco・p(ウィコップ)

きれいな水を創り出す豊かな森林を育み、次世代に引き継いでいくために、道志水源林を企業や団体からのご寄附により整備するとともに、協働して水源林保全の大切さをPRする取組で、平成21(2009)年度から実施しています。

参加企業等は、森の名称の設定や水源林保全の活動体験など、SDGs活動の推進やPRIにご活用いただいています。

- 参加企業・団体 18者 (令和6(2024)年3月時点)
- 寄附金額累計 87,838千円 (平成21(2009)～令和5(2023)年度未見込み)
- 整備面積累計 298.46ha (平成21(2009)～令和5(2023)年度未見込み)

## 4 施策

施策目標の達成に向けて実施する施策を示しています。

## 5 現状と課題

施策における現状と課題を示しています。

## 6 主要事業

施策を進めるための主要事業の概要を説明しています。

## 7 想定事業量

主要事業の4年間の事業量を示しています。

## 8 コラム・解説

施策や主要事業の理解を深めるためのコラムや解説を掲載しています。